

バリ通信



2405号

不適切にもほどがあるニュースレター

阿部サダヲ（私よりだいぶ年上なのかと思っていたら、たったの1歳だけ年上の53歳でした！）主演のTBSドラマ『不適切にもほどがある』は見られましたでしょうか？ 昭和生まれで、社会人を昭和から平成初期にかけて過ごした世代の方々は『今考えたらとんでもないねえ』とか『ナンボなんでも現代はコンプライアンス厳し過ぎちゃうの？』とか『なんかエエ中間どころないんかい？』とか色々思う事があるお話でしたねえ。

高校生の時の職員室では、教師が吸うタバコの煙がモクモクと上がり、ケツバットやビンは『愛の鞭』、若手社会人時代のTVでは『24時間戦えますか？』という栄養ドリンクのCMが流れて、残業する方がやる気ある奴みたいな風潮、『女のくせに』『女のくせに』等々、偏見と固定概念が溢れておりました。

そう書きながらも案外嫌な思い出が意外と無いのは、自分自身が麻痺しているのか、それとも悪い思い出は忘れる方が気持ち楽だから記憶から消し去っているのか分かりませんが、経験を重ねるうちに少々の事では動じなくなつたのかもしれない。

現在はインターネットのクチコミやSNSなどで、クレームが溢れており、自営業の身としては『不適切にもほどがある言動』は何としても避けなければなりません。

バリ通信は
過去に

(有)FORZA

愛媛日産自動車(株) 勤務時代

公益社団法人 今治青年会議所

今治商工会議所青年部

を通じて面識のある大切な方にお送りしております。

政治家の大先生たちが、ウケると思って発した失言が時代錯誤な内容で大炎上、というような差別的とかの言葉は私自身は流石に言うていないと思いますが、『言い方』や、『言葉のトーン』だけでも相手の受け取る印象がまるで違うので、本当に気を付けないといけません。先日ラジオを聞いていて、とある職人さんがパーソナリティの質問に対して答える際、癖なのか『ああハイハイ』と再三言うていまして、そのトーンが何故か面倒臭そうな感じに聞こえて、この人せっかくエエ話してるのに損しとるなあと思ったり、昔、親や先生から『ハイは1回！』って言われたのを思い出しましたねえ（笑）

気を使つたつもりが、みるみる相手が不機嫌になってしまった覚えはありませんか？ 自分でも無意識のうちに使っている言葉を見直し、人間関係を円滑にしたいものですね。

「マイナス口調」の常態化で損をしている人が多い

相手を傷つけないようにやんわり伝えたり、回りくどく理由を述べたり、実はこの日本特有のコミュニケーションでは、「言いたいことが全く相手に伝わらず、お互いにストレスがたまるだけ」と、2万人以上に指導してきた産業カウンセラーは言う。

コミュニケーションの基本は言葉。職場でも家庭でも、自分の気持ちを『率直』かつ『穏やか』に伝えるのがポイントです。

また、無意識のうちに「マイナス発言」が習慣化し、損をする人も多いので気を付けたい。例えば、誰かを褒めるときに「『やれば』できる」「『今日は』調子がいいね」と余計な一言があるとそれが嫌みになったり、ハラスメントになったりしかねない。

「私たちは自分を日本語の自由な使い手だと思っと思っていますが、実はそうではない。特に習慣は恐ろしく、批判的・否定的なニュアンスを含む言葉でも、繰り返し使ってしまう。

と書いてありましたが、自分もポロっと一言要らん事を言うてしまっていないか怖くなりますねえ（苦笑）

好かれる言葉につながる伝え方 3つのルール

1 「自分」の気持ちを伝える意識を持つ

「言わなくても分かるはず」は、相手に付度を求めているのと同じ。自分の気持ちは言葉で伝える意識を。

2 “端的に” “はっきりと”伝える

相手に何かをお願いするときは、認識のズレが生まれにくいよう、「端的に」「はっきりと」伝えるのが鉄則。

❖ 「明日は会議だからちゃんとできてね」
「ちゃんと」の意味が、「遅刻しないで」なのか「スープを煮て」なのか、相手に分かるように伝えて

❖ 「後で持ってきてね」
「後で」は個人の認識差が大きく、トラブルになりやすい。1時間後なのか、その日中なのかしっかり確認を

3 気になったそのときに、穏やかに伝える

我慢我慢を重ねると、ついキツイ口調に。「気になったとき、穏やかに伝えればお互いに角が立ちません。

そこには余計な一言を「好かれる言葉」に変える25の

フレーズが書かれてあるのですが、全部書くスペースが無いので、気になる方は、この後貼り付けるQRコードを読み取ってお読みください。まあ正直、そこまで気にしていたら面倒くさい！とか思ってしまうのですが、言い方ひとつで感じ方が変わるなら、一つでも覚えておきたいですよ。



ちなみに、先日、引退を発表した元サッカー日本代表の将、長谷部誠の著書で『心を整える』があるのですが、そこには勝利を手繰り寄せるための56の習慣が書かれてあるそうです。56ものルーティンが・・・無理（苦笑）

ちなみに25のうちの一つ「はい」か「いいえ」を促す質問で問い詰めない「はい」か「いいえ」の2択しかない質問は、相手を追いつけるクローズドクエスチョン。「どう？」というオープンクエスチョンなら、聞かれたほうも答えやすく、場も和む。というのがあったのですが、私は過去に返事は『（ちょっと無理して）ハイかイエスカ喜んで！』というフレーズが有名な？某団体に入っておりましたが、時間とお金の使い方、人間関係の構築などなど、様々な経験をさせていただき、会社勤めの時も含めて自動車の仕事しかしたことのない私の、見識の広がり人間性構築に非常に良い影響を及ぼしたと思っっているの、内容によっては悪くないなとも思います。（要するに出来ない理由を述べるよりも、取り敢えずやってみんかいな。という事を極端な言い方をしてるだけです）もし、『なんやねんそれ？』と思っただ方、20〜37歳位で修練・奉仕・友情を学びたい方（特に自営業者や起業したい方）、または学ばせてみたいと思うご家族（事業後継者）や社員（リーダー候補）さんがいる場合は是非ご連絡ください。決して、変なカルト教団ではないのでご安心を（笑）